

NEWSLETTER

The Japanese Association for Arid Land Studies

合同国際シンポジウム (Joint International Symposium) と第22回学術大会開催報告

日本沙漠学会第22回学術大会が平成23年5月28日(土)、29日(日)の2日間で東京農業大学世田谷キャンパス1号館で開催されました。通常の学術大会の公開シンポジウムは、5月24日から成田市の東横インで開催された第1回国際沙漠会議(第10回国際沙漠技術会議)の口頭発表のセッション、Jと位置づけられ、英語による合同国際シンポジウムとして開催されました。

学術大会研究発表と総会

28日(土)の午前中は、口頭発表とポスター発表のコアタイムが行われ、活発な議論が行われました。その後、2011年度の総会も開催され、豊田裕道新会長をはじめとする理事会メンバーの承認などの審議議題が無事承認されました。また、平成22年度の本学会学会賞の奨励賞が鳥取大学所属の齋藤忠臣会員に決定され、賞状が真木太一前会長から授与されました。

合同国際シンポジウム

このシンポジウムは、二つのセッションおよびJから構成され、『乾燥地と水循環』、『文化と生活』とそれぞれのテーマで行われました。

まず、東京農業大学大澤貴寿学長の歓迎のスピーチからスタートし、『乾燥地・水循環』では、まず、真木太一会員から昨年発生した口蹄疫と黄砂との因果関係、次に東京農工大学の川端会員からウズベキスタンのカラカルパキスタンにおける地下水と河川水の水質変化、さらにテキサスA&M大学のペイン教授から作物の遺伝的な特性を活用した乾燥地での耐乾性と水利用効率向上のためのソルガムの蒸散効率について、それぞれ報告されました。また、セッションJの『文化と生活』では、本学会の初代会長の故小堀巖先生の追悼セッションとして、先生から多くの教えを戴いた縄田、石山、相馬会員からそれぞれ報告があり、さらに海外からはイラン国のカナートと歴史的水利構造物国際センターのヤズジ教授から小堀先生の在りし日のご活躍されている映像が紹介されました。また、このセッションには先生のご子息にも参加戴き、最後にヤズジ氏から記念のアルバムと紹介された映像を納めたDVDが贈られました。

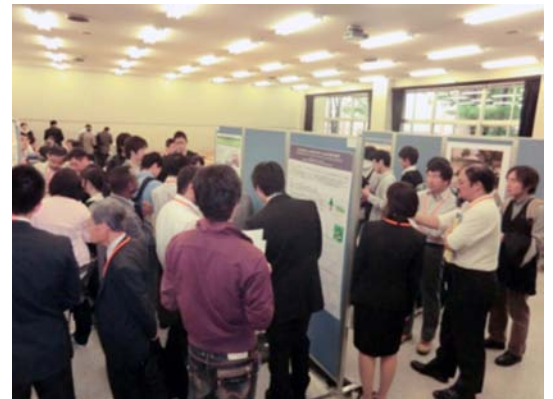
最後に、真木前会長から本シンポジウムの取りまとめが行われ、ICAL 1からの流れのセッションも無事終了しました。その後、ICAL 1の送別会も兼ねた懇親会が、東京農業大学校友会館グリーンアカデミー3Fの大ホールで盛大に行われました。

学術大会2日目

29(日)の午前中は、口頭発表、奨励賞を受賞した齋藤会員の受賞記念講演が、多くの参加者の中で行われました。また、「東日本大震災への沙漠技術による支援」と題して、乾燥地農学分科会から急遽提案のあったランチオンワークショップも行われ、現地調査に参加した杉本会員から被災地の様子が紹介され、また今後の学会としての支援活動の可能性についても活発な議論が行われました。その後、3課題の口頭発表が行われた後、豊田裕道新会長の挨拶で学術大会も無事終了しました。なお、来年度の学術大会は、2012年5月26日(土)～5月27日(日)に帯広畜産大学で開催されます。



真木前会長による合同国際シンポジウムの総括



ポスター発表



故小堀先生の思い出を語るご子息の小堀隆氏



豊田裕道新会長による閉会式の挨拶